

ナミ
NAMI

[SAGA]

性処理女海賊



NARUHO堂

成年
コミック



いよー
生きてっか？

カキ
カツ

とうとう捕まえたぜ



私とした事が…
こんな雑魚海兵なんか
捕まるなんて



泥棒猫ナミ

それにしても
凶悪なおっぱい
してやがんな

まったくだ
何食ったらそんな
でかくなるんだよ？

シルッ

ちよつと「見」見てんのよ

このスケベ海兵！

まあそう怒るなよ
ナミさん

ち・近寄らないでっ

そうそう俺達
君にプレゼント
持ってきたんだぜ？



まともな飯も出ないし
腹減ってんだろ？

そ・それは
・・・まあ

そうじゃねえかと思って
新鮮なミルクを
用意してきたんだよ

ドゥ
ッ
ッ

ナミさんのために
一週間も溜めて
おいたんだぜ？

や・やだあ

離してっいやっ

暴れるんじやねえ
別にしゃぶるのが
はじめてってわけじや
ねえだろ？

ッ
ッ

しっかりおしゃぶり
出来たら
ちゃんとした飯も
用意してやるからよ



知ってるぜお前昔
魚人のペット
だったんだろ？

おおっやっぱり
うまいなあっ
フッフッ



んぐうっ
フッフッ



いいぞナミさん
その調子だ

この馬鹿海兵...
ただ早く終わらせたいだけよ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



その時に仕込まれたのか？
嫌がってる割に
自分から吸い付いてるじゃ
ねえかよ

ちゅっ
ちゅっ

いいね〜その眼
そんなに見られたら
興奮してきちまうぜ

仲間と合流できたら
真っ先に「いつから
殺してやる……」

ん……っ

れろよ

ブッブッ

ブッブッ

それにしても
ひどい匂い……
恥垢まみれだし
ちやんとお風呂
入ってるのかしら

んぐっ

ちゅるっ

ぬほっ

んんっ

おいフェリスさぼってんじや
ねーぞー！コリアー！
お前も邪魔すんじやねえ！



わりいわりい
邪魔にならない程度に
揉んでるよ

そうそうナミさんは
チ○ポしやぶりに
集中してればいいんだ



んんんん

んんんん

よーしそろそろ
頑張ったご褒美ザーメン
くれてやるぜ！







さてナミさんの
オマ〇コ御開帳〜こと

ちよつと何勝手に
脱がしてんのよッ



指も二本でも
キツキツだぜ

はっ



離してっいやっ
見ないでええッ

アレレ思ったより
使い込んでねえな
綺麗な色してやがる

やあッ



こんな締めまりのいい
マ〇コ久しぶりだぜ

こんな乱暴にされるの
私濡れちゃってるっ
恥ずかしい...

くちよっ



イエーイ!
ナミさんの顔に
ブツかけだあ!

びゅるっ



舌出してナミさんっ

ズンズン
ズンズン



外にねっ

入れても良いから
外に出してねっ
お願いだから

それじゃナミさんのオマ○
一番槍いただくぜ!

びゅるっ



ふいっ

どろっ



尿道に残ったのも
ちやんと
吸い出してね

おいもういいだろ
そろそろ俺に代われ

ズンズン





あっ

ズググ

はあんっ

ズググ
ホグッ

ああんっ

ズググ

ズググ
ホグッ



あっ

ひいっ

いんぎん
ミミ

ズググ

ズググ

ああっ

ズググ



なんて乱暴なセックス！
こんな海兵チ○ポで
感じてなんてやるもんか！
我慢ッ我慢よッ

んぐう

ブルッ

ブルッ





熱い

ビュッ

な・中はダメだって
言ったのにいいいいっ！

ビュッ

ビュッ
ビュッ



ふー出たあつ

こんなクズに
射精されるなんて
…最悪…



おおおっ

どくっ

びゅっ
びゅっ

おー二発目なのに
こんなに出るとは
思わなかったぜ

ここのクソ海兵…
中だけは嫌だって
言ったのに…

ビショッ

本当だよ最初から
中に出すとか
何考えてんだ

それにあんな
思い切りプチ込むだけの
単細胞に結局
イカされちゃうなんて…

お・お願いあなたは
外に…

おいおいそりやないぜ
ナミさん
どうせもう一発
出されてるんだし
一発も二発も同じだって

ビクッ

ビクッ

あッ

こんないい女とタダで
やりまくれるんだ
海兵やっててよかったぜ

んぐっ

おおっ
ナミさんっ

ナミさん
最高おっ

ちゅるっ

んこおっんんぐあつ
この腐れ海兵がっ

んぐっ

んぐっ

「ヤシハン」



もう中出しは
いちゃあああつっ！

キッ

ビョビョ



喰らえやあああつ！

ビョビョ



うぐぐっ
搾り取られるうっ

うっ

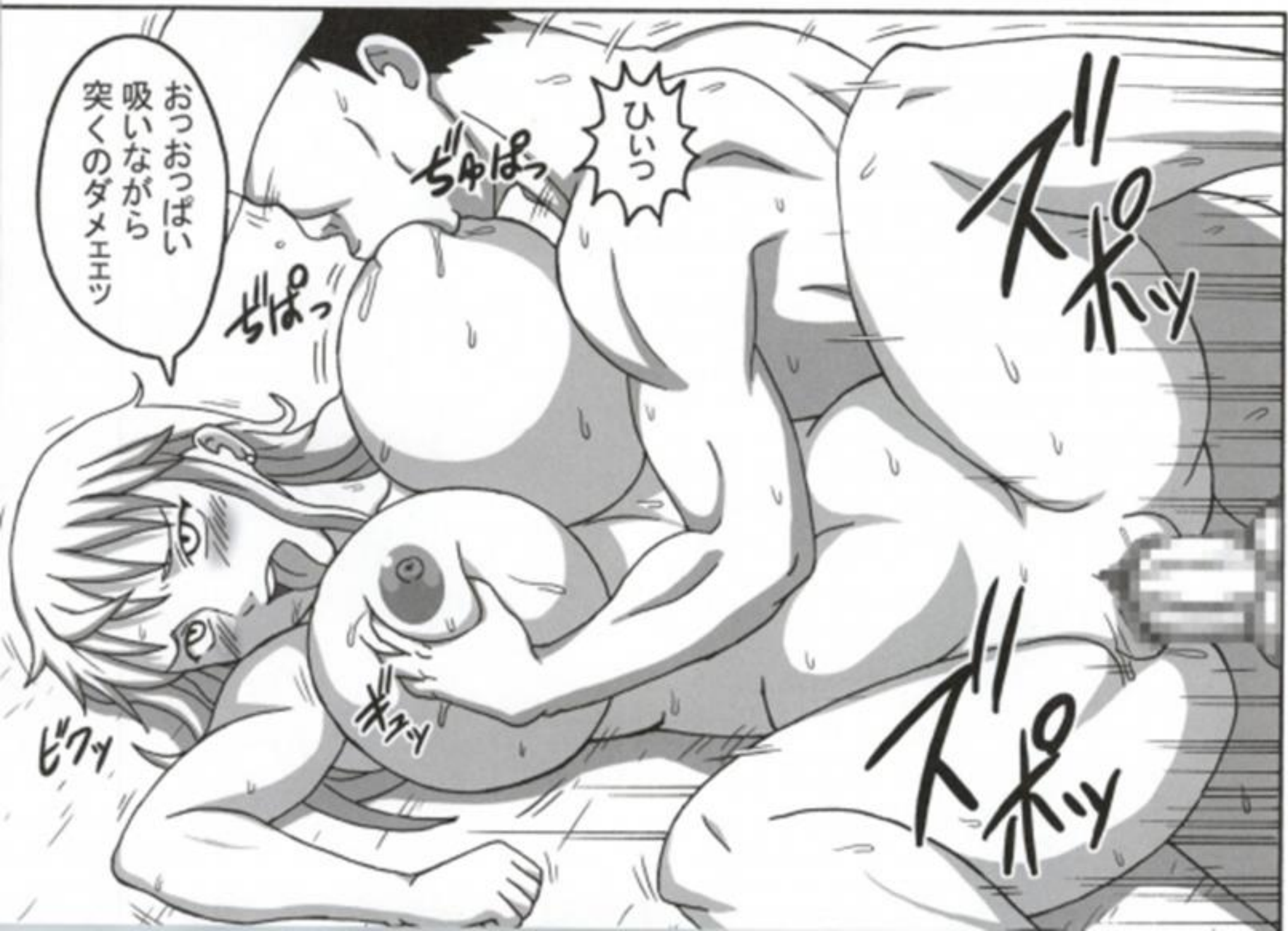
ドクドク

オラッちちせ出すぞ
口開ける...

キッ

心配しないでナミさん
俺の精子で孕ませて
あげるからね!









す・すいません
伍長……

あんまりにも
いいおっぱいしてたんで
ついイタズラしちゃって

泥棒猫ナミは
わしが一番にやると
言っておいただろうが！

まったく馬鹿者
どもが……

よかった
まともな海兵も
いるんだ

ええっ
ビィッ

高額の賞金首を孕ませるのが
わしの楽しみよ……
今日から毎日可愛がって
やるからな……ナミ

やっ
フルルッ

は・離してっ



海兵の癖に
こんな事して
恥ずかしくないの！

海賊が何言つとる！
わしのチ○ポで
仕置きしてやるんじや
ありがたく思えよ

ズ
グ
グ

あああ

ブルン

伍長と呼ばれる
おっさんの極太チ○ポは
一撃で
私の子宮を貫いた……





そこはっ
ああんっ

ここがいいのか?
ええ?

やめん
やめん



あああっ

これだから
海兵は
やめられん!

やめん
やめん



あんっ

やはり若い女は
ええのおっ
たまらんわいっ

はっっ



またお腹の中で
おじさんのが
ビクビクしてる...

ハッハッハッ
ハッハッハッ



ひゃあッ

んぐッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ



も・もう五回目よ
少し休みましょうよ

ふっふっふっ獣のよう
後ろから突きまくって
やるからな!



わあッ

ビーンッ

ふーよかった
さてと次はバックで
やろうか!

バカ言っちゃいかん
老いたとは言え
5発程度で萎える
わしじゃないわい!

嘘おっ

ホレッ

ホレッ

ズ
ホッ
ズ
ホッ
ズ
ホッ

ズ
ホッ
ズ
ホッ
ズ
ホッ

ぐっ

ズ
グ
グ

んあっ

ひっ

あんっ

なんなのこのおっさん
萎えるどころか
出す度の中で
大きくなってる!

あんっ

ズ
グ
グ

ズ
グ
グ



次の日の朝

あつ

一・伍長
もう朝ですよ??

ああんっ

ひえゝ
昨日からずっと
やりっぱなし
だったんですか?

結局おっさんに
朝までハメられ続け
失った意識を取り戻した
瞬間にも
膣内射精されていた...

ゼーッ

ゼーッ

パンツまだまだ
若いもんには負けんわい
こいつはわしが絶対
孕ませてやる...グフフ

ゼーッ

ゼーッ

ゼーッ

私の一日は
まず恥垢まみれの
チ○ポをしゃぶる事から
はじまるようになった

二日ぶりだから
たっぷりサービス
してくれよ
ナミさん

精液の味にももう慣れた
むしろ空腹のせいかな
美味しいとさえ感じる

れろれろ

の
ホッ

の
ホッ

じやいつもの
腰振りダンス
頼むぜ

はい…

んくっ

また生きてみんなに
会うために
どんな屈辱でも
耐える事に
決めたんだ

の
とっ

の
とっ

の
とっ

おいっ後ろ
並んでんだから
早く出せよっ

はあっ

あっ

まだ入れた
ばっかだったっーの
バーカ!



んぐっ

もう知らない海兵はいない
恐らくこの船の全員と
セックスしたんだろっ



おほっ

ツ
ちやっ

ビクッ

んぐっ





他の海兵達が
出し終えて帰る頃
私にとって
地獄の時間が始まる



一日も欠かぎず
ヤツがやって来るからだ

いようっ



半日振りだなあナミ
俺がいなくて
寂しかっただろ?

今日もこのまま
朝までハメラれ続ける
...

誰が...

ズッ



一日の三分の一は
私の体の中にいくつかの
チ○ポが入っている
おかげで毎日
寝不足だ

あっ

オラッ

オラッ

あっ



しかもさらにムカつくのは
他の海兵と違いテクニシャンで
ヤツがイクまでに
私の方が何度もイカされる事だ

はあん



深いっ

ズッ

ズッ



ああんっ
ビッパ

やだあっイクッ
おっさんチ○ポで
またイツちやうじゅんじゅんっ……

私がイクのと同時に
おっさんの精液が
流れ込んでくる……
嫌だこの人の子供だけは
孕みたくないッ



あっ
あんっ
おりやっ

ドッポッポッ

ドッポッポッ



まだまだ夜は長い……
今夜のたっぷり可愛がって
やるからな……ナニ

アッ

こいつ絶対に
膣内射精しかしない
一秒でも早く
ここを出ないと
確実にこいつに孕まされる



ふーやっぱり一番紋りは
たっぷり出るのお……

ビッパッ



お・おっつ
っーかもっ無理出ちまっつ

フッフ気持ちいい?
海兵さん?
イキたくなったら言っつてね
全部飲んじやうから



おおっつ

なんっーテクだ
チ○ポが
とろけちまっつ

ズリッ

ズリッ



ふーっしかし変わったな
ナミさん
初日はあんなに
嫌がったのに

今じゃ自分から
チ○ポにしゃぶっついで
くるんだからなあ



おおっつすげえ吸い付きっ
気持ちいいっつ

ジュジュ



やだーこんなにするのは
海兵さんにだけ
特別よ!

でも・・・私のお願
聞いてくれたら
もっとサービス
しちゃうのにな

オイオイまさか
脱走させてくれとか
言うんじゃない
だろうか？

まさかっ
そんな大それた事じゃ
ないわよ

ほら捕まってから
ちゃんと髪が洗えてないから
痛んできちゃって...

海兵さんの部屋のシャワー
ちよつとだけお借りしたいの
お願い！

スツ

シャワーの後は
海兵さんの部屋のベッドで
あんな事やそんな事...

海兵さんが満足するまで
何発でも好きなだけ！
全身全霊でサービスしちやう

ひゅっ

ねえ...
お・ね・が・い！

とっ

ま・まあシャワー
貸すくらいならいいか

やった！

びーッ！

よしっ部屋に入れれば
武器が無くても
海兵の一人くらい
なんとかなるわ



その代わり部屋まで
ハメっぱな!

ちよじちよじと
何考えてんのよ!!

ズンズン

なんでこの海兵は
こんなエロ野郎
ばかりなのよおっ

ズンズン

ズンズン

「こんな事してたら他の人に見つかっちゃうじゃないっ」

「ハハハ大丈夫
この通りは
囚人しか居ないからよお」

「なななななっお前は」

「いやあっ」

「泥棒猫ナミィー！」

「ズッホ」

「ズッホ」

「ガビーン」

「なんでお前がこんな所に！
なんて幸運だ！」

「な・なあ頼む海兵さん
その女俺たちにも
やらせてくれ！」

「俺ら麦わら海賊団に
潰されてここに居るんだ
頼むうっ」

「何言ってるの
コイツ！早く
行きましよう」

「バーカこんないい女
クソ海賊ごときに
渡すわけねーだろ」

「ガッ」

「タダとは言わねえ
これは手付けた」

「キラッ」

「残りの財宝ありかは
その女をこっちに渡してくれたら
すべて話す！」

ほう…本物
みたいだな…

ちよっちよっ
冗談でしょっ…

好きにしていいけど
殺すなよ

いやあああつ
なんでもするから
ここだけは勘弁してええつ



こんな所でむぎわら一味に
復讐出来るとは思わなかったぜ
チ○ポ勃起し過ぎて
破裂しちまいそうだ

ド
ド
ド

俺の事覚えてるか？
あの時の礼だ
足腰立たなくなるまで
犯しぬいてやるから
覚悟しろ…



ごめん…みんな
私…もう
帰れないかも
しれない

ゆ・ゆるして…
お願い…



つづくかも



NARUHO堂